

# 県職員の給与の状況

## 県職員給与の決定のしくみ

県職員の給与は、民間事業従事者の給与実態などを踏まえた人事委員会勧告に基づき、国や他の地方公共団体との均衡も考慮して、県議会の審議を経て条例で定められています。

## 行財政改革の取組み

本県では、これまで、平成7年度の「山形県行財政改革大綱」以来、8次にわたり行財政改革推進プランなどを策定し、適正な定員管理、給与管理により、総人件費の増加の抑制を進めてきました。

引き続き、「山形県行財政改革推進プラン2021」（令和3～6年度）に基づき、無駄のない簡素で効率的な組織機構、人員体制の実現に向けて取り組むとともに、職員給与については、適正な制度運用を行っていきます。

なお、令和5年度当初予算における職員給与費は、10年前の平成25年度当初予算と比較した場合、81億円(7.2%)を削減しています(1,129億円→1,048億円)。同様に、令和5年度当初の定員(企業局及び病院事業局を除いた普通会計部門の人数)は、平成25年度当初と比較した場合、1,090人(6.3%)を削減しています(17,404人→16,314人)。

## 人件費の状況

(普通会計決算令和4年度)

歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	令和3年度の人件費率(参考)
7,018億2,569万円	1,471億4,921万円	21.0%	20.9%

(注)人件費とは、職員に支給される給与、退職手当、地方公務員共済組合負担金、特別職に支給される給与・報酬等の総額をいいます。

## 職員給与費の状況

(普通会計予算令和5年度)

職員数	給与費				職員1人当たりの給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
15,947(201)人	671億4,094万円	117億7,734万円	258億3,620万円	1,047億5,447万円	657万円

(注)1. 職員手当には退職手当を含みません。  
2. ( )内は、暫定再任用短時間勤務職員であり、外書きです。

## 職員の平均給料・平均給与の月額及び平均年齢

(令和5年4月1日現在)

区分	給料月額 給与月額		年齢
	一般行政職	328,500円 404,400円	
警察職	325,300円 451,600円	38歳10月	
高等学校教育職	387,400円 428,900円	47歳 2月	
小中学校教育職	363,300円 395,000円	43歳10月	
技能労務職	333,600円 372,700円	53歳 5月	

(注)給与月額は給料月額に職員手当の月額を加えたものです。

## 職員の初任給の状況

(令和5年4月1日現在)

区分	給料月額	
	一般行政職	大学卒業程度 188,100円 高校卒業程度 156,300円
警察職	警察官A 215,400円 警察官B 176,600円	
高等学校教育職	大学卒 210,800円 高校卒 166,200円	
小中学校教育職	大学卒 210,800円 高校卒 166,300円	

## 職員の期末・勤勉手当

(令和5年4月1日現在)

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.2月分	1.2月分	2.40月分
勤勉手当	0.975月分	0.975月分	1.95月分
計	2.175月分	2.175月分	4.35月分

(注)国家公務員(計4.40月分)と比べて0.05月分低くなっています。

## 職員の退職手当

(令和5年4月1日現在)

区分	自己都合		勤続・定年
	支給率	勤続20年 19.6695月分 勤続25年 28.0395月分 勤続35年 39.7575月分 最高限度額 47.709月分	
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2~20%加算)		
1人当たり平均支給額	(一般職員) 1,814万円	(全体) 1,949万円	

(注)1. 国家公務員と同様の制度となっています。  
2. 1人当たり平均支給額は、令和4年度に退職した職員に支給された平均額です。  
なお、一般職員とは、全職種に係る職員から警察職及び教育職を除いた職員です。

## 定員の状況

(各年4月1日現在)

区分	定員		増減
	令和4年度	令和5年度	
知事部局	4,060人	4,066人	6
議会事務局	30人	30人	
選挙管理委員会事務局	4人	4人	
監査委員事務局	16人	16人	
人事委員会事務局	16人	15人	▲1
海区漁業調整委員会事務局	1人	1人	
内水面漁場管理委員会事務局	0人	0人	
警察本部	2,350人	2,350人	
教育委員会	9,906人	9,832人	▲74
教育局	243人	246人	3
小・中・高等学校等	9,663人	9,586人	▲77
普通会計部門計	16,383人	16,314人	▲69
企業局	163人	163人	
病院事業局	1,933人	1,923人	▲10
合計	18,479人	18,400人	▲79

(注)知事部局に公営事業会計の流域下水道事業会計(13人)を含んでいます。

## 特別職の給料月額等

(令和5年4月1日現在)

区分	給料月額等	
	給料	知事 1,240,000円 副知事 954,000円
議員報酬	議長 904,000円 副議長 807,000円 議員 778,000円	
期末手当	知事 6月期 1.625月分 副知事 12月期 1.625月分	議長 3.25月分 副議長

(注)期末手当の額は、給料月額等に100分の45の割合を乗じて得た額を当該給料月額等に加算した額に支給月数を乗じた額です。

# 山形県のシンボルを次世代へ ～県民の宝である「樹氷」の復活に向けて～

県では、今年3月「樹氷復活県民会議」を設立し、樹氷を形成するオオシラビソ(別名:アオモリトドマツ)林の再生の支援に取り組んでいます。

## ● 被害地の状況

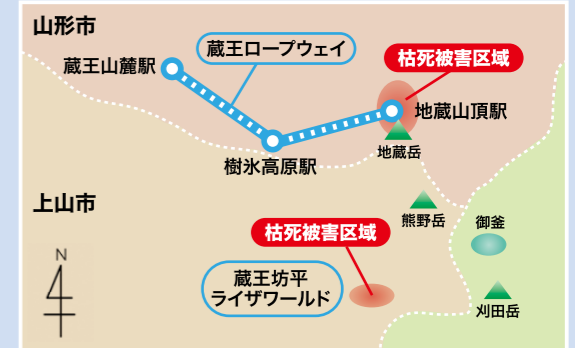
蔵王連峰の1,300mから1,700mの亜高山帯に多く自生する針葉樹であり、樹氷を形づくるオオシラビソ。そのオオシラビソが、虫による食害などにより、広範囲で枯死しました。林野庁の調査によると、山形県側では約2万3千本(全本数の約2割弱)のオオシラビソが枯れており、樹氷の存続が危ぶまれています。特に被害の甚大な山頂付近では枯死木が広がり、このままでは自然による再生は難しい状況です。



地蔵岳山頂付近の枯死状況(遠景)



地蔵岳山頂付近の枯死状況(近景)



## ● 樹氷の景観を次世代へつなぐ取組み

蔵王のオオシラビソ林は国定公園内にあることから、周囲の自然環境を守りながら再生することが必要です。

「樹氷復活県民会議」では、林野庁山形森林管理署と連携し、自然環境に配慮しながら苗木の育成や稚樹を現地に移植し育成していく活動を行っています。

## ● 苗木の育成

蔵王のオオシラビソは、自生樹であり流通している苗木がないため、種から苗木を育てています。県では、ほ場(標高約1,400m)を整備し、今年6月に種をまきました。種は無事に発芽し、青々とした葉を広げて育っています。



県のほ場で2cm程に育ったオオシラビソ

## ● 稚樹の移植

地元の山形市立蔵王第三小学校や同第二中学校の子どもたちと、オオシラビソ林の再生を課題研究する県立村山産業高校の生徒による移植活動を行いました。蔵王ロープウェイ樹氷高原駅付近に自生する高さ20cmほどの稚樹を掘り起こし、地蔵山頂駅付近(標高約1,600m)に、再生への願いを込めて植えました。山頂の強風や冬の厳しい環境の中、樹氷がつくられる大きさになるまでには約70年かかるといわれています。



## ● 「樹氷復活・育成応援基金」の創設

県では、皆さまからの寄付を基金に積み立て、樹氷を次世代につなぐための取組みに活用していきます。

▶ 問い合わせ ◎ 人事課 ☎023-630-3075

詳しい内容は、ホームページでご覧になれます。▶



▶ 問い合わせ ◎ みどり自然課 ☎023-630-2207